

＼明日から実践したくなる！／

ソーシャル アクション 実践 はじめの一歩



「ソーシャルアクション」。

…もしかしたら国試対策以来、久しぶりに聞いたかもしれません。でも、日頃の実践の中に「ソーシャルアクション」ってけっこうあるかもしれない。ソーシャルワーカーにとって身近なもので、大事な手段なのでは？…そんな気づきから、生活支援班ではこのテーマに向き合うことにしました。私たち生活支援班と一緒に、お二人の実践を通じて「ソーシャルアクション」を探してみませんか？

2026.
日時 3/8 (日) 14:00～
会場 新潟ユニゾン
プラザ 4F・大会議室

■お申込みについて

研修申込みは「manaable（マナブル）」からお願いいたします（右記QRコード）。マナブルで研修の申込みをしていただくには、利用登録が必要です。ご登録がまだの方は新規登録を行ってください。



会員
無料

非会員
1000円

実践報告1

「種蒔く人になろう！育てる楽しみ ソーシャルアクション」

田園調布学園大学 長谷川 洋昭 さん



実践報告2

「身寄りなし」問題からの アクション

魚沼市社会福祉協議会 佐藤 直樹 さん



グループワーク

お二人の実践報告を元に、「わたしにできうこと」を話しあってみましょう。

実践報告者profile

■長谷川 洋昭

1972年生まれ。田園調布学園大学子ども教育学部教授。少年時代、事件を起こして家庭裁判所に送致された経験により、刑事司法に関心を持ち今に至る。陸上自衛隊予備3等陸曹として、特技を射撃とする。現在、学生とともにBBS活動に取り組む。保護司・社会福祉士・精神保健福祉士。日本社会事業大学卒。

■佐藤 直樹

1975年生まれ。元海上自衛官という異色の経歴を持つ社協職員。2004年社会福祉協議会入職、生活困窮や貸付、生活自立支援、法人後見などの相談業務を担当。行政や地域の関係機関と「身寄りなし」問題に取組み、2020年度「魚沼市における身寄りのない人への支援に関するガイドライン」作成。社会福祉士、精神保健福祉士。